

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[症状](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

Table of Contents

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[症状](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) サーバと VoiceXML (VXML) ゲートウェイ

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CVP サーバ
- VXML ゲートウェイ
- Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM)、Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 配備

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP サーバ

- VXML ゲートウェイ
- UCCE

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

レイテンシー価値的研究法はまたは 200 ms を、CVP 超過し、Cisco Unified Interactive Voice Response (IVR) パフォーマンスは大きく影響します。

症状

- コール ドロップ
- VXML アプリケーション オーディオはされません
- Microapp はうまく、VXML アプリケーション働きます (たとえば: 5 秒以上の helloworld アプリケーション) エクスペリエンス、オーディオ無しまたは遅らせられたオーディオ

ネットワーク 待ち時間 セクションの CVP 8 ソリューション ネットワーク参照設計 (SRND) 資料はだけでなく、遅らせられたオーディオの効果 VXML サーバと VXML ゲートウェイ間のネットワーク 待ち時間による VXML アプリケーションからのまた無音を減らすために可能性のある回避策を記述したものです。

フェッチ可聴周波機能を設定することは IVR サブシステム レベルと Expanded Call Context (ECC) 変数 レベルで SRND 資料が詳細の設定も取り扱っていない警告も述べなかったと同時に実行されたことができます。

設定

IVR.FetchAudioDelay の IVR サブシステム設定および IVR.FetchAudioMinimum は追加されます。それらはフェッチが WAN リンクに遅れるときルート資料の WAN 遅延設定です。

これらのコンフィギュレーションは CVP コンフィギュレーション ファイルの 1 つで遂行する必要があります: C:\Cisco\CVP\conf\ivr.properties

1. IVR.FetchAudioDelay=2

これは fetchaudio メディアを再生する前にフェッチ遅延のはじめに、待つ時間いっぱい (秒で) です。

この設定は fetchaudio の値が空ではない場合、実施されます。

デフォルト値は 2 秒です。それは正常なネットワークシナリオで聞かれるブリップ音を避けるのに使用します (遅延なしで)。

ゼロへのこの値を設定することは最低 5 秒の間 fetchaudio メディアを、すぐに再生します。

値: 1 ~ 9

2. IVR.FetchAudioMinimum=5

これは要求されたリソースが一方に着いても fetchaudio によって規定されるオーディオをする時間の最小の長さです。

この設定は IF 値 offetchaudio だけが空ではないです、実施されます。

デフォルト : 5 秒

値: 1 ~ 9

3. IVR.fetchaudio=flash: holdmusic.wav

これは fetchaudio の位置を規定する変数です。holdmusic.wav は VXMLgateway フラッシュするでロードする必要があります。

値フラッシュするのまわりに引用符を置かないで下さい: IVR サブシステムが **holdmusic.wav** は、たとえば引用の別の層を追加しました。flash: 最終的なストリングの holdmusic.wav (不具合 CSCub05699 を参照して下さい)

IVR.FetchAudio=flash: holdmusic.wav

ivr.properties ファイルを保存し、OAMP コンソールのデバイスコントローラからの callserver を再起動して下さい。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。